

お茶の間学Ⅱ

生活特報部 FAX 092 (711) 9056 メール seikatsu@nishinippon-np.jp

もり 森林をつくらう 脊振の地から

Ⅱ 佐藤和歌子

素材生産の立場から

いま、山村においては過疎化、高齢化が進み、地域の森林を守り育ててきた人たちは後継者難で、手入れされない森林が多くなってきました。

それが現実であることは否定しません。でも、脊振の地に生まれ、誇りを持って山仕事に従事する父親の後ろ姿を見て育った私には、森林が常に、暗く、

苦しく、助ける存在だと語られることに違和感がありました。澄んだ水や空気、さまざまな生命を育む森林は、都市に住む人にとってもかけがえのないもの。そして山村で暮らす人にとっては、先祖から引き継ぎ、築き上げてきた財産であり、夢や誇りを後世につなぐ舞台であると思うからです。環境問題に対する社会の大きな関心の下、森林もその重要な

生まれ育った佐賀県・脊振の地を拠点に、NPO法人「森林をつくらう」を設立して9年目になります。

NPOではその名の通り、森林をフィールドに広葉樹・針葉樹の植林や育林活動、子どもたちを対象にした山登りや川遊び、木工教室などを実施してきました。ただ、こんなことをするのは、植林そのものや、山仕事の大変さを分かってもらうことが目的ではありません。真の狙いは、森林での活動を通じ、今、本当にやらなければならぬ環境保全活動Ⅱ国産木材の活用を推進することにあります。

生まれ育った脊振の集落と佐藤和歌子さん



さとう・わかこ 1979年、佐賀県神埼市出身。西南学院大学法学部卒業後、2005年に「森林をつくらう」を設立し、理事長に就任。「山を元気に！そしてみんなが幸せに」を旗印に、森林の育成から木材の生産流通、住宅の設計施工に携わる。木の特性を最大限に生かして家を建てる伝統構法などを広げる「新・木造の家設計コンペ」などの活動を展開中。